

内藤大使のテレビ番組「TIMES EXCLUSIVE」での発言(3月21日)

在マラウイ日本国大使として1月末にムタリカ大統領に信任状を捧呈して2ヶ月となる。これまで南ア、ケニアに在勤、東京でもJICAアフリカ部を含め、長年アフリカ問題に従事して来た。着任以来、「アフリカの温かい心」と言われるマラウイの人々の歓迎ぶりに感銘を受けている。

日本とマラウイは独立来、62年間の外交関係があり、様々な国際協力事業を通じて信頼に基づく関係を構築して来ている。日本は、国際空港、水力発電所、灌漑施設、教員養成大学、一村一品運動、SHEP、栄養改善等様々な分野で協力を進め、最近ではナカラ回廊開発の一環としてリロングウェ橋の引き渡し式を行った。

日本大使館が2008年にリロングウェに設置されたのに先立って、JICAは1971年にここブランタイヤに事務所を設置(1989年にリロングウェに移動)し、JICA海外青年協力隊の派遣を開始した結果、マラウイは世界中で最もJICA協力隊の累計派遣数が多い国となっている。これは隊員を受け入れるマラウイの人々の温かい心、治安の良さと無関係ではない。隊員は北から南までマラウイのコミュニティと一緒に生活し、技術の共有を通じて人的関係が構築されており、人的絆は二国間関係における重要なアセットとなっている。

もちろんマラウイ経済が、外貨不足を含め、依然として大きな課題に直面していることは十分認識しており、日本はマラウイ政府と協力して課題の克服のため引き続き努力している。昨日はWFPを通じた食糧援助の引き渡し式で、裨益者の小作農の方々とは意見交換したが、食糧不足時における人々の苦しみは人間の尊厳を大きく損なうものであり、如何に持続可能な富の創出を実現するために農業増産支援等、様々な努力を続けていく必要がある。

日本は、インフラを建設するだけでなく、開発に必要なオーナーシップを強調し、カイゼンなどの知識を共有している。リロングウェ橋引き渡し式の前日に、地方自治大臣やリロングウェ市長、JICAとともに橋の清掃活動を行い、ものを大切にする喜びを共有したところ、街の一般市民や行商の人々が自発的に参加したのは嬉しい驚きだった。市の清掃は定期的に活動となり、ムタリカ大統領もマラウイをきれいにする大統領令を発出された。

もうひとつ勇気づけられたのは、文部科学省の国費留学生をマラウイから130人以上排出しており、先日も合格者を送り出した。彼らは、鉱物資源産業のための地質学、材料・電力エンジニアリング、医療検査技術などマラウイが必要としている技術を学ぶために日本の有名大学の修士課程に学ぶ。マラウイに戻って貧しい人々のために貢献したいという問題意識の強さに感銘を受けた。日本はこうした若い指導者達を支援していく。

自分の任期の間に、貿易投資関係、ビジネス関係の強化でも進展を得たい。経済に外貨不足等の構造的な課題があることは承知している。他方、CFAO(豊田通商)、日本タバコ等、成果を上げている日本企業もある。よって例えばヨハネスブルグに拠点をおき、アフリカ全体を統括しているビジネスマン達の当地訪問を通じたビジネスチャンス紹介を行えればと考えている。また、既に鉱物資源産業においても日本企業の関心が示されている他、課題解決型ビジネスでも、両国を繋ぐ「架け橋人材(協力隊OBやMEXT・JICA研修経験者)」が至るところで活躍している。当館共催のビジネスピッチイベントでも、マラウイの学生たちはITを活用したビジネスモデルを提案、受賞するなど手ごたえも感じている。

(質問に対し)マラウイから日本人が学ぶことも多い。多くの協力隊員は、マラウイで学んだこと、人生をも変える経験に感謝して帰国の途についている。協力隊員として活動した元警察官の古賀氏がマラウイ人女性と結婚し、二人のお子さんとともに日本で暮らしているが、彼が書いた本「アフリカ・マラウイで教わった幸せのために近道しない生き方」は、日本で注目を集めている。厳しい生活の中でも常に前向きに豊かな気持ちを保ち、あるものを効果的に利用し、他人を尊敬しながら幸せに生きることにつき示唆を与えている。便利で豊かな日本でも、心の幸せでない世相があるためかもしれない。もうひとつ、昨年のおおさか関西万博でのマラウイ館では、マラウイ湖天然資源に関する日マラウイ研究者の発表が大きな注目を集めた。来年開催される園芸博はさらなる機会となる。

(インタビュワーに促され)最後に、視聴者へのメッセージとして、自分は長年かけて構築された日本とマラウイの国民間の相互理解を一層深め、広げて行きたい。同時に、開発協力の努力に加えて、二国間のビジネス関係を促進し、貿易投資の促進を通じた持続的な経済開発の実現に向け進展を目指したく、各分野でのマラウイの方々との協力を進めて行きたいと思うので、どうぞ宜しくお願いしたい。